

第34回 国立市健康危機管理対策本部会議記録	
日時	令和4年7月14日（木）10時30分から11時30分
場所	市役所2階 市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、宮崎政策経営部長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、馬橋子ども家庭部参事 大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)、 中島基盤整備担当部長、橋本教育次長、内藤議会事務局長、林会計管理者
付議事項	(1) 都内・市内の状況について ①東京都の状況（資料No.2～6） ②市内の状況 (2) 自宅療養支援室の対応について (3) ワクチン接種について (4) その他 ①地域のイベントについて ②感染症の類型について
主な内容	(進行：大川健康福祉部長)
1 議 題	(1) 都内・市内の状況について（橋本健康まちづくり戦略室長） ①都内の状況(資料No.2～6) ・感染状況は「感染が拡大している」と分析されているが、現時点、都の対策会議では、特段の行動制限は出ていない。 ②市内の状況 ・感染者数は増えている。70代以上の方は少ない。 (2) 自宅療養支援室の対応について（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長） 7月に入り、相談件数、パルスオキシメーター、物資の置き配が増加している。 7月12日には、自宅療養が232件で、ホテル療養もいっぱいになってきている状況で、自宅療養が増える懸念がされる。 (3) ワクチン接種について（黒澤生活環境部長（健康福祉部参事）） 7月13日から集団接種4回目を体育館で実施している。 3回目については、この感染状況を受けて、3回目の予約をする方が増えてきている状況であるが、若年層の接種率が低い印象である。 6月に夜間接種を2回ほど実施したが、若年層の3回目接種を促すように工夫をしていく。 (4) その他 ①地域のイベントについて（黒澤生活環境部長（健康福祉部参事）） 地域の盆踊りが軒並み中止することにしたとの連絡が入ってきている。 ②感染症の類型について（永見市長） 類型を変更した場合、市町村負担が増加すると危惧している。もし、変更となった場合、支援が届かないことがないように手立てを考えなければならない。感染者の情報もキャッチする手立てなどのルールが見えてこない。
2 本部長指示及び対応方針について	感染症にかからない対策をとってもらうのはもちろん、まん延しないような対策を各職場単位で講じてもらいたい。 見込みが正しければ、爆発的な感染状況になり、支援室が大変な状況になる可能性がある。早めに状況を察知して、全体でどうカバーしていくかを考えて、臨機応変に対応してもらいたい。

以上